

目の相談室 のびのび



福島県立視覚支援学校
地域支援センター
令和元.9.4 No. 2

酷暑の夏休みが終わり、2学期がスタートしました。先生方に置かれましてはお忙しい日々を送っておられることと思います。さて、今回の目の相談室だより「のびのび」では、のびのび教室サポートクラブのお知らせやタブレット端末やスマートフォンの使い方についての紹介をいたします。今後の参考になれば幸いです。

地域支援センター 目の相談室 のびのび

相談専用 TEL 080-7347-3908 mail shien-gr@fcs.ed.jp

〒960-8002 福島市森合町6-34

※地域支援センターは県立視覚支援学校に設置されています。

学校 TEL 024-534-2574 FAX 024-533-2470

ホームページ <https://fukushima-sb.fcs.ed.jp>



のびのび教室サポートクラブについて



本校の担当者が各地域に出向いて行う「サテライト教室的相談会」です。

対象 見えにくさのある乳幼児、児童生徒や成人の方、保護者、ご家族、
指導・支援にかかわる先生方、関係者の方

時間 14:00~15:30

※参加者数によっては時間が前後することがあります。

相談内容 視機能評価、補助具の選定及び使い方の指導等、拡大教科書の文字の選定に関する事、点字の指導、歩行指導、あそびや学習、
進路や就労に関する事等

【第2・3回のびのび教室サポートクラブ】

県北地区	11月26日(火)	福島市保健福祉センター
県中県南地区	10月24日(木)	須賀川市教育研修センター
会津地区	12月5日(木)	会津若松合同庁舎
いわき地区	10月10日(木) 1月16日(木)	いわき市総合教育センター
相双地区	9月26日(木) 12月12日(木)	鹿島保健センター

※参加申し込みを希望される場合は、「地域支援センター目の相談室のびのび」までお申し込み下さい。

日常生活で見えにくさがある場合の タブレット端末やスマートフォンの活用

見えにくさがあって困っている場合、自分に合ったフォント・文字サイズの学習教材を使用したり、拡大読書器を使って読んだり書いたり、ルーペや単眼鏡を使ってものを拡大して見たりするなど、補助具を活用することができます。近年、タブレットやスマートフォンなどの情報機器の発達によって、それらを生活に生かすことができるようになってきました。

今回は日常生活で、見えにくさがある場合に使うと便利なタブレット端末やスマートフォンの使い方の一部をご紹介します。自分に合った補助具を適切に活用して便利に生活することができると思います。

【出来ること】

ズーム機能、拡大鏡、色の切り替え、アプリの活用

【日常生活で便利な使い方紹介】

① スポーツ観戦に便利（ズーム機能）

タブレットのカメラもしくはビデオ機能を使ってその様子を写し、その画面を見て、鑑賞することができます。ズーム機能が使えるので、自分の見え方に合わせて拡大して見ることができます。また、見る範囲がタブレット画面だけになって、わかりやすいです。*撮影可の場合に限ります。

② 音声で操作ができる（iPhoneに標準機能）

iPhoneの「Voice Over」機能は、画面の読み上げができます。簡単な指の操作で、電話・メール・アプリなどiPhoneのほとんどの機能を使うことができます。時間を知るのにも便利です。

③ 映画館で音声解説が聞ける（アプリ）

「UDキャスト」を使うと、解説を聞きながら観ることができます。登場人物の名前やその行動、風景の様子など、どのような場面か画面の解説があります。見えにくさがあっても、解説を聴くことで、物語のポイントに注目して観ることができます。映画を十分に楽しむことができます。

※ 「UDキャスト」対応の映画のみ利用可能ですが、近年、対応している映画が増えてきています。

④ その他

- 電子書籍
- メモ帳アプリ
- ナビゲーションアプリ
- カメラを向けて写真を撮ると撮った情報を読み上げてくれるアプリなど

